



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/17 （3/10との比較）	3/17 （3/10との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
日本 	A+	0.08% （▲0.01）	/	+1.6% 2016年4Q	-	市場予想通り米国で利上げが実施され、日銀が当面の金融政策方針を維持する中、国債利回りは小幅低下。春闘での賃上げの動きが鈍化していることも材料視された。	内閣府の月例経済報告や貿易収支などの発表が予定され、また40年国債入札も予定。日銀の長期国債買い入れオペの動向などをにらんで、引き続き国債利回りはレンジ圏内での推移を見込む。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.50% （▲0.07）	112.70円 （▲1.82%）	+1.9% 2016年4Q	1.00%	市場予想通りFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが実施され、参加者による政策金利見通しは据え置き。トランプ大統領の予算案概要が議会に示される中、国債利回りは低下。米ドルは対円で下落。	中古住宅販売件数や耐久財受注などの発表を予定。G20財務相・中銀総裁会議で反保護主義の文言が声明に盛り込まれなかったことが材料視される中、国債利回りはレンジ内での推移が予想される。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.44% （▲0.05）	121.03円 （▲1.22%）	+1.7% 2016年4Q	0.00%	オランダ下院選挙では、与党の自由民主党が政権を維持する見通しとなり、今後は連立協議が注目される。ドイツ国債利回りは低下。ユーロは対円で下落。英国のEU（欧州連合）離脱通知する権限がメイ首相に付与された。	ユーロ圏のPMIなどの発表が予定され、引き続きフランスやイタリアなど各国の政治動向が注目される。英国のEU離脱や、米国の政策動向などからも目が離せない状況。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

先進国② 市場概要・見通し (カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー)

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/17 (3/10との比較)	3/17 (3/10との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.76% (▲0.05)	84.42円 (▲0.92%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	中古住宅販売件数と製造業売上高は増加。米国国債利回りの動きに連れて、国債利回りは低下。原油価格が一進一退の動きとなる中、カナダドルは対円で下落。	CPIなどの経済指標や2017年予算案の発表を予定。引き続き景気回復の度合いを探る環境で、金融緩和が維持される見通しの中、国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	景気安定	据え置き局面		
オーストラリア 	AAA	2.86% (▲0.12)	86.80円 (+0.26%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	雇用統計の雇用者数と失業率は市場予想を下回る内容。国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で上昇。中銀関係者は、住宅ローンに対する規制強化策の効果が薄れている可能性がある」と指摘。	中銀理事会の議事要旨や景気先行指数などの発表が予定され、引き続き景況感改善の度合いを探る状況。海外の材料が少ないものの、引き続き米国の政策動向が注目される。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	景気安定	据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.28% (▲0.12)	79.10円 (▲0.44%)	+2.7% 2016年4Q	1.75%	GDP (国内総生産) は市場予想を下回る伸び率に鈍化。製造業PMIは上昇した一方、消費者信頼感指数はやや鈍化。経済指標に上向きの勢いが見られない中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	23日に中銀が金融政策を決定する予定。現状の経済指標から景気の過熱感が薄れていることから、政策金利は1.75%で据え置かれる見込み。移民数などの経済指標や隔週開催の乳製品入札が実施される予定。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	景気安定	据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.81% (▲0.05)	13.30円 (▲0.41%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	中銀は16日の理事会で金融政策の据え置きを決定。今年と来年の政策金利見通しを昨年12月時点と変わらず据え置く一方、追加利下げの可能性も示唆。ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	景気は上向いているものの、中銀理事会にて追加利下げの可能性が示唆されたことから、当面は利上げ期待は高まりにくい環境。金融市場に対しては原油価格動向などの国外要因が影響を与える見込み。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	景気安定	据え置き局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高(円安)を上向き、現地通貨安(円高)を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/17 (3/10との比較)	3/17 (3/10との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	9.96% (▲0.01)	36.46円 (▲0.18%)	-2.5% 2016年4Q	12.25%	貿易収支は黒字幅が拡大し、インフレ統計は低水準を維持。中銀によるエコノミスト調査でインフレ見通しが下方修正されたことを受けて、国債利回りは小幅低下。レアルは対米ドルで上昇、対円で下落。	格付会社ムーディーズ社は同国の格付見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げ。一方、現政権関係者の汚職問題が再燃するなど政治的緊張感は高まりやすく、債券・為替は上値の重い展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	7.69% (▲0.15)	8.85円 (+1.59%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	鉱物生産量は改善するも、製造業生産高や小売売上高が予想を下回るなど、経済指標は強弱まちまち。国債利回りは低下。米ドル高が一服したことや資源価格の持ち直しを受けて、ランドは対米ドル、対円ともに上昇。	インフレ統計や経常収支などの発表を予定。足元のインフレ率は鈍化しているものの、中銀総裁はこれまでの引き締め政策の転換に慎重な姿勢を示す。政治リスクの残存などから債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	→ 金利横ばい	↓	↓ 景気鈍化	↑ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.06% (▲0.24)	0.84円 (▲1.63%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	輸出入ともに前年比で大幅な伸びを示し、貿易黒字幅も高水準を維持。中銀が政策金利を据え置いたことや海外からの投資資金の流入が強まったことなどを背景に、国債利回りは低下。円高により、ルピアは対円で下落。	主要な経済指標の発表予定はなし。米国債券市場が落ち着きを見せる中、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気安定	→ 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.88% (▲0.07)	1.72円 (▲0.12%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	インフレ統計では卸売物価とCPIがともに加速。現モディ政権を支持する州議会選挙の結果を受けて、国債利回りは低下。インドルピーは対米ドルで上昇、対円では下落。	主要なイベントはなし。GST（物品・サービス税）は予定通り審議会が実施され、7月の導入に向けて順調な進捗。現政権の下で国内の改革が進むとの期待の高まりから、同国資産は堅調な推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

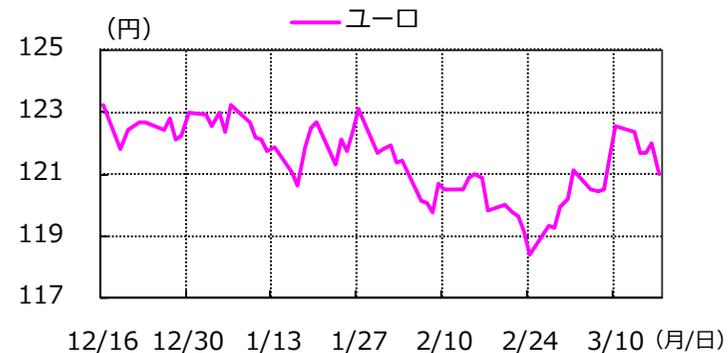
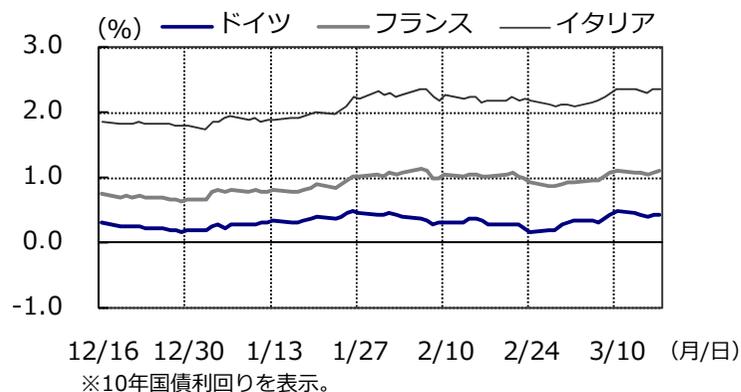
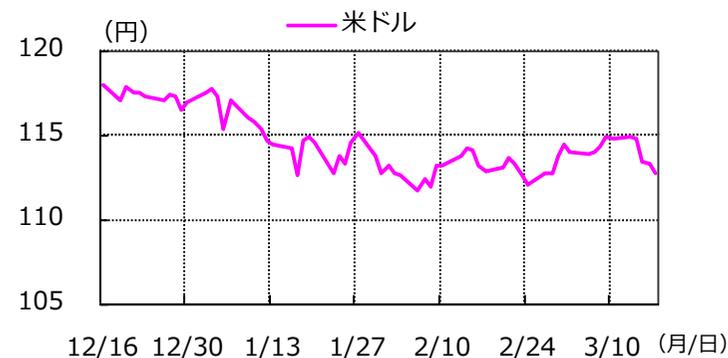
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/17 (3/10との比較) 今後の見通し (※4)	3/17 (3/10との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
メキシコ 	A	7.09% (▲0.08)	5.91円 (+0.92%)	+2.4% 2016年4Q	6.25%	鈹工業生産は市場予想を下回ったものの、前月より上昇。FOMC（米連邦公開市場委員会）や米政府高官による通商条約交渉に前向きな発言などを背景に、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などの発表を予定。翌週30日の金融政策決定会合やNAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を見据え、債券・為替ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	11.30% (▲0.17)	30.99円 (+1.28%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	中銀は16日の金融政策決定会合で後期流動性貸出金利の引き上げを決定。引き締め姿勢を示したことが好感されリラは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数などの発表を予定。4月に予定される大統領権限強化の是非を問う国民投票に向け、政治的な緊張感が高まりやすいことから、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
中国 	AA-	4.26% (+0.08)	16.32円 (▲1.92%)	+6.8% 2016年4Q	4.35%	鈹工業生産や固定資産投資が堅調な結果となるなど、総じて良好な内容。また、中銀がリバースレポ金利や中期貸出金利を引き上げたことを受け、国債利回りは上昇。円高により、香港市場の人民元は対円で下落。	主要な経済指標の発表予定はなし。国内景気が底堅く推移する中、当局による追加金融引締めへの警戒感が強まり、国債利回りは短期を中心に上昇しやすい地合いを予想。
	Aa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/16～2017/3/17



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

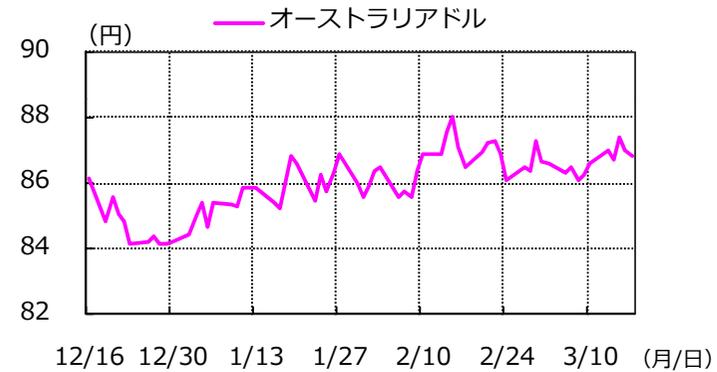
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/16～2017/3/17

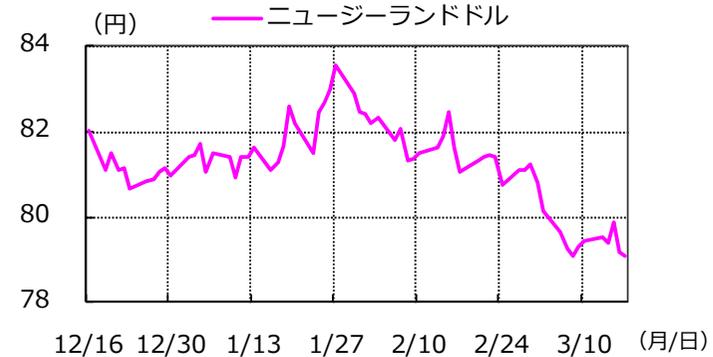
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

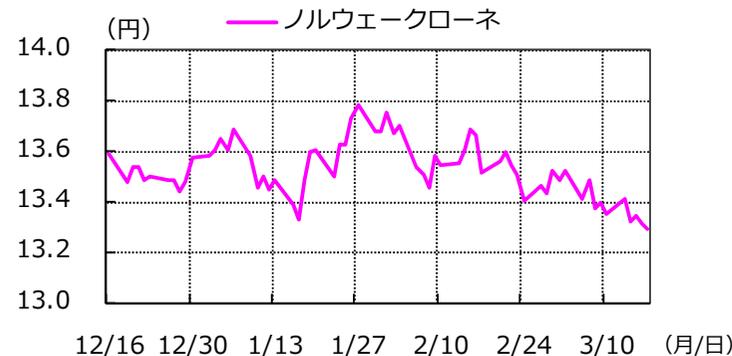


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/16～2017/3/17

ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

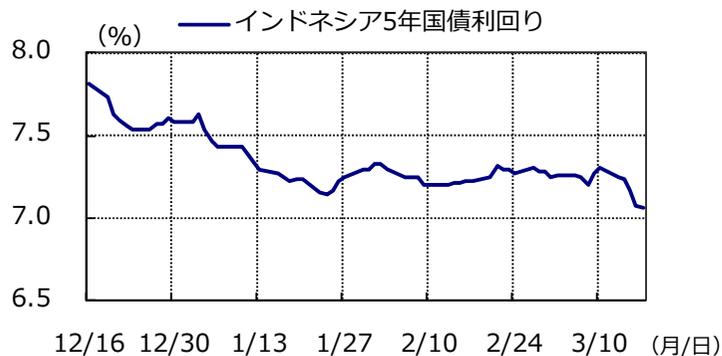


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

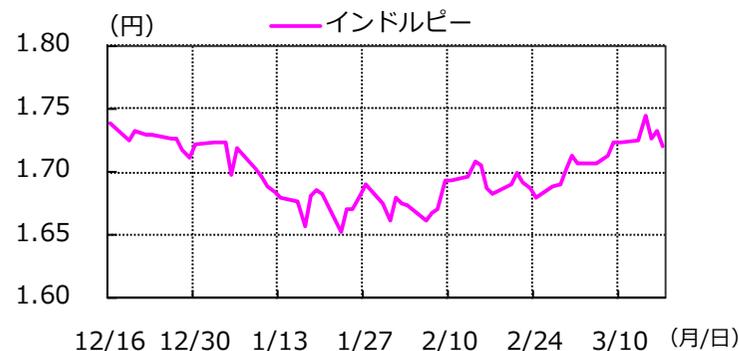
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/16～2017/3/17

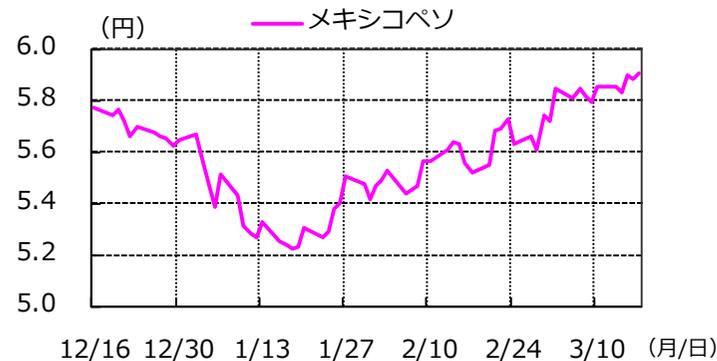
インドネシア



インド



メキシコ



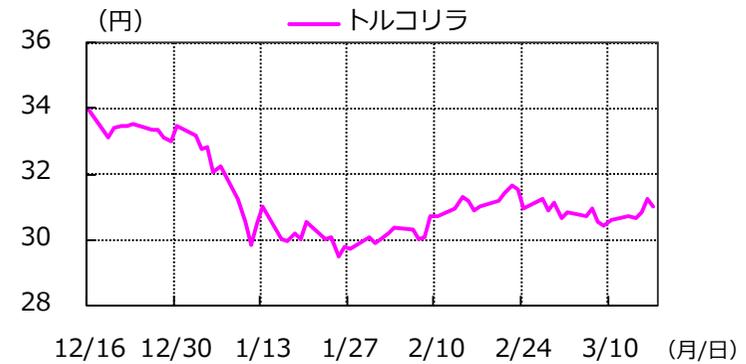
※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/16～2017/3/17

トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。

※香港市場における人民幣の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。